

八峰町ジオパークについて



丸山あつ子 議員

質問 ジオパークに認定される事に期待しているが、24年度認定申請に間に合うのか。進捗状況と準備体制・作業工程の計画はどうなっているか。

答弁 認定申請を24年度と設定し、各年度毎に重点目標を掲げ活動してきた。

22年度は最も重要視されているガイドや研修やジオパーク体験活動など実績づくりに集中した。23年度では、案内・解説看板の設置・ジオサイトマップの作成、体験ツアーの実施、講演会、各種

ふるさと大学の設立を（郷土観の確立）



山本 優人 議員

質問 当町の地質的な資源、歴史観などが消え行く今、これらの資源について当町の多岐にわたる資源の内容を探索し、研究をして次世代に引き継ぎ続けていくことが必要と考える。

町民に自然や文化の特色、あるいは伝統的な食文化を学ぶ機会を提供することで、①町民が自慢出来る町の宝として認識、②その資源の活用で特産品開発や観光開発などで地域の活性化、③学びの中から次世代に引き継ぐ人材の育成。この三

質問 他自治体では給食費の未納・滞納が問題

学校給食の実態について

再質問 地元の熱意がキーポイントになるので、講演会や見学会、広報などPRに努めていく。グッズについても新年度に予定準備し取り組みたい。各ツリーズムにジオを加えた形でPRし、活用役立てていきたい。

再質問 「おらほの館」や「ひより会」の仕入れ比率が少ないのではないかと。特産の塩、塩もろみ、

高齢者宅の除雪体制について

再質問 「おらほの館」や「ひより会」の仕入れ比率が少ないのではないかと。特産の塩、塩もろみ、



給食センター調理風景

再質問 他自治体では給食費の未納・滞納が問題

再質問 地元の人が講師になることによって地元の資源の価値や認識が高まると思うが。

答弁(教育長) 八峰町に関係する話しということに特化して講座を開催してきたが、意見を頭にいれながら進めたい。

再々質問 具体的な最初のとつかかりとしては、八峰町の検定とか行えば、町民になじみやすく、「八

質問 温暖化による異常気象でゲリラ豪雨や豪雪が想定され、雨は何とかしのげるが、雪は高齢者の買い物行動や緊急車両の足を止めてしまえば存にも関わる問題だ。こうした先の想定される状況に対し、町の支援方針はどうか。

また、今何とか元気に動いている住民でも人力除雪は年々こたえるようになってくる。地域住民が近隣高齢者世帯の除雪作業を行い、行動の確保をするため一時貸与式の



冬の除雪風景

点を目的にすえた確かな知識・認識を履修することで郷土観が生まれる。以上の観点から、八峰ふるさと大学を設立する考えはないか。

答弁(教育長) 地質学、自然学、文化等の伝承と人材の育成を図り、加えて23年度作成の向こう5年間の「社会教育中期計画」策定時にはこれらのことを盛り込みたい。

質問 温暖化による異常気象でゲリラ豪雨や豪雪が想定され、雨は何とかしのげるが、雪は高齢者の買い物行動や緊急車両の足を止めてしまえば存にも関わる問題だ。こうした先の想定される状況に対し、町の支援方針はどうか。

また、今何とか元気に動いている住民でも人力除雪は年々こたえるようになってくる。地域住民が近隣高齢者世帯の除雪作業を行い、行動の確保をするため一時貸与式の

除雪機を整備することが必要と考えるがどうか。

答弁 相談があった場合は、社会福祉協議会が窓口になり、町内の建設業者に紹介する等の支援をしている。

また、小型除雪機による貸与や利用方法については、行政協力員会議等に諮りながら取り組みの希望のある自治会に対して、来冬、モデル的に実施したい。